

2009年 介護保険改定を めぐる動き



去る6月2日に衆議院第一議員会館で行われた国会集会「要介護認定はどう変わる？」に参加しました。

そこで、2009年改定に向けての要介護認定の変更スケジュールを聴き、あまりにも介護保険制度の基本理念から逸脱している内容に愕然としました。早速「高齢社会をよくする女性の会・京都」の会に実情を報告し、7月1日に国会集会の企画者「市民福祉情報オフィス・ハスカップ」の小竹代表を京都にお呼びして「介護保険は瀕死です!!」のテーマで緊急臨時例会を開催しました。今回進められている要介護認定項目の変更の中で、特に納得できないことは、介護保険財政の視点からのみ提案された「軽度者に対する介護給付の見直しによる試算」で、「要支援Ⅰから要介護Ⅱまでの軽度のを介護保険制度の対象外とする」をはじめ、認知症の症状を把握するために大変重要な23項目の認定項目が削減されるというものでした。介護保険制度の根幹を成すものに、対象者の自立支援がうたわれていたはずですが。私たちは、次回、開催される「要介護認定検討調査会」に間に合わせるべく、厚生労働大臣ほか老健局長や、関係諸課長宛に意見書を提出いたしました。8月8日の調査会資料には、数箇所の保険者、「女性の会・京都」ほか多くの団体からの意見書が添付され、何とか削減予定の23項目のうち9項目が復活したとのこと。でもまだまだ隠された課題がいくつか散見されています。私たち被保険者は、本当に介護の社会化が達成できる「介護保険制度」となるよう、今後も制度の行く末にアンテナを張って行きたいと思ひます。

(松島慈児)

テキストが一人歩きしてもスリーAの基本精神がきちんとお伝えできることに力点を置いて、NPOの仲間たちの助言を得て書き上げる事が出来ました。挿絵や編集にも素晴らしい協力者が現れて出版にこぎつけました。スリーA所長の増田先生から評価していただき、巻頭言を書いてくださったことに、感謝しています。

7月15日発売(本体価格千円)で、NPOの応援会員さんのほか、京都府山城地域や全国版シルバー新報などの新聞に紹介記事が掲載されたことで、未知の方々から問合せや注目の電話を毎日のようにいただいています。なかでも嬉しいことに、宇治市近隣地域の老人会の役員さんが買いに来てくださって、数日後また来訪されて「もう二冊」「もう三冊」などと、リピーター購読者を迎えています。老人会や一般高齢者の集会でも、10分でも20分でもこの予防ゲームを

皆さんで楽しんで頂きたい、その思いが通じたと喜んでいきます。また「シルバー新報を見た」と言つて、東北地方とか北海道とか、これまでご縁の無かった遠隔地の、それも地域包括支援センターなど介護予防を担当している方など多くの介護事業所からのお問合せがあるのも嬉しいことです。「全国津々浦々へ」の合言葉が、実現に向つて一歩踏み出した手ごたえを感じます。皆々様のご支援のおかげでここまで来ることができました。有難く厚くお礼申し上げます。法人設立目標に近づくように、これから認知症予防スリーA方式の普及活動に励んでまいります。今後ともよろしくご指導ご支援くださいませ。(高林実結樹)



テキスト刊行

かねて予告の「スリーA予防ゲームテキスト」が完成しました。これまで講演などにお招きくださった多くの方が待ちかねておられたテキストです。

お買い求めは

認知症予防ゲーム-テキスト-

あかるく あたまを使って あきらめない スリーAに学ぶ

著者 高林実結樹

お問い合わせ

発行者 NPO法人 認知症予防ネット

電話0774-45-2835 FAX0774-45-2793

発売元 ウィメンズブックスストアゆう

電話06-6910-8627 FAX06-6910-6115

E-mail info@womens-books.jp

定価1000円+税(送料1冊180円、5冊260円)



すべての人に降り注ぐ 優しさのシャワー

認知症予防ネットを知ったのは2年前の秋。スタッフのお一人である知人のF氏がその活動を紹介してくれたことがきっかけであった。予防ネットの講演会に参加。スタッフのみならずご自身の体験に基づく熱い思いを聴き、予防ゲームにも参加してその楽しさに笑い転げた。

さらに認知症予防研修会に参加された方の、目を見張る活動にも刺激され心は決まった。私も増田先生開催のスリーA研修会に参加しよう。

3日間の「目から鱗」の講習、増田氏のさまざまな経験と豊富な知識に基づく研修はすばらしいものであった。

認知症の概念と判定の方法、脳活性化リハビリの必要性、お仲間への接し方からゲームの実技、家族への対応、予防教室運営の実際など必要かつ十分に網羅されていた。増田氏のお人柄にも触れ、予防ネットで活動されるみなさまへの尊敬の想いも重なり、高齢者のみならず生まれてから生涯を閉じるまですべての人に降り注ぐ優しさのシャワーがあれば、と深く感じ入ったのであった。

研修から3ヶ月、縁があり高齢者施設で働き始めた私は認知症のさまざまな段階の方々に明るく明るく声を掛け話を聴く。

ただそれだけであるが研修で得た確かな土台は揺るぎないものになっている。

周囲に志を同じくする者が居ない中、これ

から何が出来るのかを模索中でもある。

研修会最後の日、手にすることのできた「NPO法人認知症予防ネット発行 認知症予防ゲーム」の本。

解説はともわかりやすく丁寧、スリーAの精神を伝え、その活動の歴史がわかり、装丁にはやさしさのシャワーが溢れる。

多くの方々の経験と想いが凝縮されたすばらしいテキストである。

医師 井原節子

優しさのシャワーを 全市に

「認知症予防ケアグループきらら」がスタートして、この10月でやっと1年。体験教室やリーダー派遣等を通じて、多くの方にスリーA脳



トレゲームを体験していただきました。

4月から近くの議員事務所を借りて、2週間に1度、60歳以上の方が誰でも気軽に参加できる「きららサロン」を開き、スリーA方式認知症予防ゲームをしています。特に、一人暮らしや高齢夫婦だけの世帯では、会話も少なく、サロンにいられて久しぶりに大笑いしたと笑顔で帰られます。高齢化が進む川西市には、このようなサロンがもっと必要だと思います。

他の地域に広げるには人材が必要と、川西市男女共同参画センターの助成金に応募し、

「スリーA認知症予防ゲーム講習会」の企画が採用され9月から5回開催することになりました。講師は経験豊富な認知症予防ネットの高林さんと福井さん。広報や新聞を見て応募された方が多いのですが、その中には、地域で週1回高齢者の居場所づくりをしている福祉グループから4名の申し込みがありました。同じ地域のデイサービス施設の職員2名も申し込んでくれています。終了後は、この地域の認知症予防の受け皿ができると期待しています。

認知症予防ケアグループきらら
向井陽子

スリーAとの 出会い

昨年、認知症予防教室インストラクター養成講座が、私の奉仕する金光教の教会施設で行われ、受講者として初めてスリーA方式認知症予防ゲームと出会った。

毎回ゲームの進め方の説明や、高林先生を

はじめ認知症の方やその家族に関わられた講師の話などから、これから自分たちもどのような形か分からないが、必ず向き合う問題だと認識した。3時間の講義、実習は先生方のエネルギーの詰まったものであり、認知症予防に対する前向きな攻めの姿勢に心動かされる10回講座であった。

講座修了後には、同じ会場で開講される「ズメの学校」のインストラクターのお役目をいただき、参加者総勢7人で教室はスタートした。回数を重ねること、参加者同士の会話も弾むようになり、日常生活と離れて、ゲームを通して日頃のしがらみや役割とはまた違ったありのままの、それ以上の自分になれる、と感じるのは私だけではないだろう。

これからも気楽になれる、楽しい、飾らなくても良い、こうでなくてはならないというものはない、そんな場所として週一回でも訪れてくださる方々に喜んでもらえるような教室として、皆さんのお役に立ちたいと願っている。

認知症予防教室インストラクター

墨染教室担当 松岡賀代子



京都市府老人福祉施設協議会 在宅部門研修会に招かれて

去る7月9日(水)私たちは、表題の研修会に招かれて、講演と、認知症予防のゲームの体験をしていただきました。参加者は京都市内の在宅サービス事業所の職員さんたちで、男性、女性とそれに年齢幅も広く60名以上の参加者で教室が一杯になりました。

午前中、NPOのメンバー・松島慈児による「認知症予防活動との出会いとこれから」という演題での講演も皆さん真剣に、メモを取り、パソコン入力し、ビデオを撮りながら話しに聞

き入っておられました。

午後から、予防ゲームを体験していただきましたが、最初は真剣な表情だったのがだんだん時間が進むにつれて笑顔に変わり、笑い声が大きく響く教室へと替わって行きました。これぞ予防教室！と嬉しくなる時間です。さすが施設の職員さんだけあって、要領よくゲームを進めてくださり、太鼓など人数の加減で全員分準備できなかったにも関わらず、譲り合い、しかし積極的に皆さんに体験していただく事が出来ました。

その日、NPOがはじめて発行したテキストも出来上がり、その場で販売させていただいたのですが、持って行ったものが完売とな

り、後日発送を承った方々もおられ、嬉しい限りでした。こうやって少しずつでも認知症予防が広がっていく事を願ってやみません。

平山 真砂美

10月から認知症予防 教室が始まります

平成18年4月、地域包括支援センターが開設され、認知症に関する相談を受ける事が多くなり、その対応のために認知症に関する研修を積極的に受けていました。その時、増田先生の「スリーA方式」を知り職員、介護支援専門員、老人会の役員さんに声をかけ、NPO法人認知症予防ネットの方を講師に迎え、スリーA方式認知症予防教室の研修会を行いました。参加者は、認知症の進行は遅らせる事ができることや、接し方のポイントを学び、「あかるく、頭を使って、あきらめない」のもとに行われたゲームにも取り組み、笑いの絶えない研修になりました。また、スリーA方式を取り入れて実践されている大阪府泉南市地域包括支援センターに見学に行き、一般高齢者、特定高齢者両方の認知症予防教室の取り組みを学ばせていただきました。そこで、認知症予備軍の方に何も受け皿がなく予防なんて無理、認知症予防の教室は包括ではできないという思いが、「これなら私たちでも出来るわ」と言う考えに変わりました。平成20年度開催に向け社会福祉協議会と検討会を重ね、増田先生主催の静岡の2泊3日の研修会にも5人(市3人社会福祉協議会2人)で参加しました。

帰ってからは、認知症予防教室のボランティア養成講座をNPO法人認知症予防ネットの方に講師を依頼し開催できました。おかげさまで30数人の受講生の方ほとんどが、教室のボランティアとして参加していただく事になりました。9月18日教室のリハーサルを行います。事業は社会福祉協議会に委託しているのですが、具体的な内容についてはお任せして、地域包括支援センターは、特定高齢者の候補者の方を訪問し、参加者の確保に努力しているところです。増田先生、高林先生、原口先生をはじめ関係する先生方のご協力、ご助言をいただいた事で認知症予防教室を開催することができました。本当にありがとうございます。また、今後もご支援よろしく願っています。

奈良県葛城市地域包括支援センター

保健師 松山神恵

アンケートの抜粋

特養や現場の体験など、普段を省みるお話でした。心にゆとりを持ち、優しさのシャワーを心掛けたい。

新鮮な研修でした。声掛けや気遣いの仕方が参考になりました。

とても楽しかった。テキストを見ながら少しでも実践できるよう頑張りたい。

日々のレクリエーションにも「そういう意味もあるのか!」という目的を気付かせて頂きました。

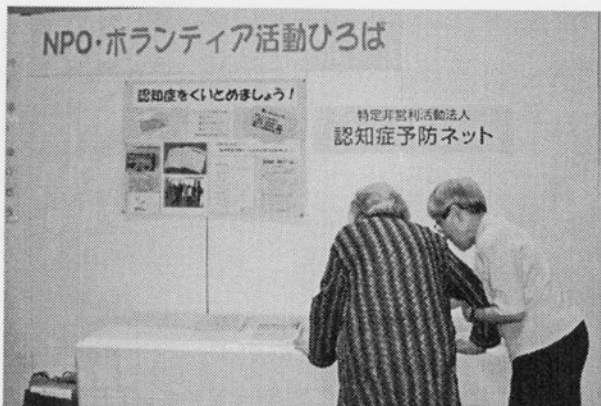
失敗した人への上手なフォローが参考になった。

集団レクの中で個の活かし方が良く考えられていると感じた。

今まで何とも思わなかった細かな配慮を知った。

レクを提供する際には何を提供者側が留意しなければいけないかがわかった。

レクでは、少しの工夫で雰囲気も全く変わってしまうものだと感じた。



9月14日、京都市伏見区パルスプラザにて、ポスター展示「SKYふれあいフェスティバル」。

今後の予定 (08年10月1日～)

- 10月9日～ 複数回 教室派遣/奈良県葛城市/葛城市社協
 10月10・24日 講演/京都府城陽市/西部在宅介護支援センター
 10月11日～ 4回 講習会/大阪市/大阪府健康生きがいづくり協議会
 10月11・25、11月1日 講習会/兵庫県川西市/認知症予防ケアグループきらら
 10月12日 講演/京都市/KYOのあけぼのフェスタ
 10月26日 講演/三重県松阪市/南勢カトリック在宅介護支援センター
 11月2日 広報展示/京都府宇治市/宇治福祉まつり
 11月8・9日 広報展示/京都市/法務省・文科省ほか主催、世界人権宣言60周年
 11月17日 講演/滋賀県東近江市/NPOほほえみ
 11月22・29日 講習会/京都府長岡京市/NPOZ訓マインドネット
 11月30日 広報展示/京都市/市民活動フェスタ

事務局からのご案内

会員募集

認知症高齢者の増加が見込まれる中、私たちは、認知症予防教室の全国津々浦々への拡大を願い、スリーA方式による成果の素晴らしさを広報するために、日々活動を続けています。趣旨にご賛同くださる方は、ぜひ会員となって、活動を支えてください。

詳しくは事務局へお問い合わせください。

(1) 正会員 — 入会金 2,000円
 年会費 6,000円

(2) 賛助会員

- | | |
|----|-----------------------|
| 個人 | 入会金 1,000円 |
| | 年会費 (1口) 2,400円 1口以上 |
| 団体 | 入会金 3,000円 |
| | 年会費 (1口) 24,000円 1口以上 |

郵便振替口座

加入者名 NPO法人認知症予防ネット
 口座番号 00900-1-223642

認知症予防ネット 購読者募集

年3回定期発行 送料込み年500円。お申し込みお待ちしております。(会員には無料配付)

編集後記

にぎやかだった蝉の音が、いつの間にか止んだと思ったら、田圃には稲穂が垂れて、赤とんぼが舞い始めています。夜には何処からかかすかに鈴虫の音色、こおろぎの鳴き声と、あんなに「暑い、暑い」と人に会うごとに愚痴をこぼしていたのに、自然は正直に、静かに歩んでいます。スリーAのテキストが欲しいという多くの方々のご要望を受けて、ようやく7月15日に発行してから2ヶ月あまり、思いもかけない多方面から購読の申し込みが届いています。機関紙13号にも多くのご報告をいただき、私たちの口癖だった「ポストの数ほど」も夢ではなかったとうれしく思っています。(松島 慈見)

活動報告 (08年6月1日～9月30日)

広報パネル展示

- 8月9・10日 京都府京都市/京都府人権啓発推進室鴨川納涼
 8月15日 京都府宇治市/文化センター
 9月14日 京都府京都市/SKYふれあいフェスティバル

講演会講師派遣

- 6月5日 滋賀県大津市/伊香立民生委員会
 6月12・26日 京都府城陽市/梅林園在宅介護支援センター
 6月13日 兵庫県川西市/ぱれっと川西
 6月17日 奈良県葛城市/忍海老人憩いの家
 6月21日 京都府城陽市/久世校区社協
 7月1日 京都府長岡京市/きりしま園
 7月7日 京都府京都市/同志社大学社会学科
 7月9日 京都府京都市/京都府老人福祉施設協議会
 7月15日 京都府宇治市/宇治市教育委員会・難聴の会
 7月16・30日 京都府城陽市/ひだまり在宅介護支援センター
 7月29日 奈良県葛城市/葛城市社会福祉協議会
 8月5日 奈良県葛城市/葛城市社会福祉協議会
 8月12日 京都府京都市/京都市長寿すこやかセンター
 9月9日 京都府宇治市/小倉ふあみりいの会
 9月12・26日 京都府城陽市/萌木の村在宅介護支援センター
 9月20日 大阪市東成区/萌健会ケアハウスレインボウ
 9月21日 京都府城陽市/つつじヶ丘自治会
 9月24日 京都府京都市/京都市生協北支部

教室派遣

- 9月18日 奈良県葛城市/葛城市社協

予防ゲーム講習会

- 9月13・27日 兵庫県川西市/認知症予防ケアグループきらら

ラジオ・出版・寄稿

- 7月15日 出版/『認知症予防ゲーム-テキスト-』
 8月19日 ラジオ/京都府宇治市/FMうじ/対談
 9月2日 榊医学書院『保健ジャーナル』/2008年9月号/「地域で見守り助け合うコミュニティづくり 宇治市の認知症予防事業」の中に掲載された

お知らせ

- 10月12日に、京都府男女共同参画センター主催の、第20回KYOのあけぼのフェスティバルに、「ワークショップ、「スリーA方式認知症予防の解説と教室体験」の講師として招かれました。このワークショップの主催は高齢社会をよくする女性の会・京都です。会場はJR京都駅から南へ徒歩10分の「京都テルサ」。参加費300円。申込不要、公開です。よろしかったらどうぞご参加ください。
- 以下の3箇所ですべてポスター展示に参加します。お近くにお越しの際は、お立ち寄りください。
 11月2日 宇治福祉まつり 主催宇治市社協 展示会場は宇治市生涯学習センター
 11月8・9日 法務省・文部科学省ほかの主催による、世界人権宣言60周年の大規模な「京都ヒューマンフェスタ2008」に参加します。(9日にはステージ発表もさせていただきますこととなります)
 11月30日 ボランティア・NPOなどの活動紹介フェスティバルが、みやこめっせで行われ参加します。